

近藤洋太 評論集

11月下旬配本予定

ペデルペスの足跡——日本近代詩史考

日本近代詩のペデルペスたちの足跡を辿る。

口語自由詩を切り開いた萩原朔太郎、西脇順三郎、宮澤賢治、中原中也、立原道造たち近代詩人が通った一様ではない進化の過程。太平洋戦争に直面した三好達治、草野心平、伊東静雄たちの生の痕跡。詩の実作者が辿る詩史論。

ペデルペスとは およそ3億5000年前に生息していた両生類。1992年、アイルランド南西部に浮かぶバレンシア島の海岸でペデルペスの足跡260個が発見され、最初に地上にあがった四肢動物と考えられている。

著者：近藤洋太（こんどう・ようた）
 1949年福岡県久留米市生まれ。詩集に『もがく鳥』（78年）、『七十五人の帰還』（81年）、『カムイレンカイ』（85年）、『水縄譚』（93年）、『水縄譚其弐』（00年）、『筑紫恋し』（11年）、『果無』（13年）、『CQICQ』（15年）、『SSS』（17年）など。評論集『矢山哲二』（89年）、『反近代のトポス』（91年）、『〈戦後〉というアポリア』（00年）、『保田與重郎の時代』（03年）、『人はなぜ過去と対話するのか——戦後思想私記』（14年）、『現代詩文庫231 近藤洋太詩集』（16年）、『辻井喬と堤清二』（16年）、『詩の戦後』（16年）。



四六判並製 / 244頁
 定価 2,200円+税
 ISBN978-4-908568-19-0
 C0095 ¥2200E

目次 日本近代詩の問題—前書に代えて / 「浄罪詩篇」時代—萩原朔太郎 / 『氷島』の詩語—萩原朔太郎 / 遠いものの連結—西脇順三郎 / 文語定型詩への到達—宮澤賢治 / 歌の成立—中原中也 / 口語自由詩の完成—立原道造 / 反「師系」の文学としての詩 / 戦争と詩人 / 頸ながし鳥臀おもし鳥—三好達治 / 死んだら死んだで生きてゆくのだ—草野心平 / このかさのひらかずば—伊東静雄

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX 03-3721-1922**

TEL 03-6715-6121 E-mail info@tsubamebook.com http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）	書肆子午線 新刊		info@shoshi-shigosen.co.jp 返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
	ご注文数	近藤洋太 評論集 ペデルペスの足跡——日本近代詩史考 ISBN978-4-908568-19-0 C0095 / 四六判並製 / 244頁 / 本体 2,200円	
ご担当	既刊	近藤洋太 評論集 詩の戦後——宗左近 / 辻井喬 / 粟津則雄 ISBN978-4-908568-06-0 C0095 / 四六判並製 / 352頁 / 本体 2,400円	
	様		